

東北中央道栗子トンネル貫通

# 万世大路の未来

▷上◁

東北中央自動車道の栗子トンネル(仮称)は二十二日、貫通する。総延長八千九百七十二メートルと東北で最長、全国五番目の長さを誇る。平成二十九年度に開通予定の福島ジャンクション(JCT)―米沢インターチェンジ(IC)間二十八キロの約三分の一を占め、無料通行の道路トンネルとしては全国最長だ。貫通までの大工事と「万世大路(ばんせいだいろ)」と呼ばれ交通の難所だった福島―米沢間の歴史を振り返り、その将来像を探る。



貫通に向け掘削が進められる栗子トンネル＝2月

## 4年7カ月の大工事

貫通式を目前にした十八日、栗子トンネルの工事現場では、岩盤を削る大型機械や発破の音が激しく鳴り響いた。二十一年八月から四年七月月を要した大工事も残りわずか。最後の数回の掘削が山形県側から続く。昨夏、工事はトンネ

## 緊急設備やカメラ完備

ルから地表までの高さ六百メートルもある区間のトンネル上部に入った。トンネル上部に大きな圧力がかかると、崩落の危険性が高まった。掘削のペースを一日二メートル程度とこれまでの約三分の一に落とした。三井住友建設の牛田久雄現場所長が事業に着手した。し

緊急設備やカメラ完備

栗トンネルの最高地点は海拔四四〇メートル、現在の二一三号国道よりも二百メートル低い。福島側からの掘削工事に携わった清水・大豊特定建設工事共同企業体の新居直人現場所長(仮)は「五年近くにわたった大工事がやっと一区切りを迎える。国内有数のトンネル工事に関わられて感慨深い」と貫通式を心待ちにしている。内部状況を確認

ルが変形しないよう、鉄製の支柱を多く使った。コンクリートで補



2014年(平成26年)3月20日(木曜日)

(第三種郵便物認可)



2014(平成26)年  
3月20日  
木曜日

発行所  
福島民報社

福島市太田町13-17  
(郵便番号960-8602)

電話代表 (024) 531-4111  
編集局531-4122 広告局531-4153  
事業局531-4173 販売局531-4175

購読のお申し込み  
☎0120-373437



東北中央道栗子トンネル貫通

# 万世大路の未来

▷中◁

栗子峠を越えて福島市と米沢市を結ぶ道は「万世大路(ばんせいだい)」と呼ばれる。「初代」は明治十四年に開通し、行幸した明治天皇が命名した。名称の由来は中国の古典

から輸入し、貫通させた。人と荷馬車のみが通行できる道だった。その後、交通事情の変化に伴い道路が拡幅された。昭和十二年から車が行き来できるようになった。山形側の隧道入り口脇に新たな入り口を掘り、屈折していたトンネル内を直線と通れるようにした。そ

# 頼れる「第4世代」に

## 先人の先見性たたえる

「尚書」の一節「万世永頼」。万世大路研究会幹事の鹿摩貞勇さん(左)は「幾世代にもわたって永く頼れる道路になっ

れでも冬場の五カ月は積雪で通行止めになった。日々、東北の物流が支えられている。鹿摩さん(左)は「万世大路は改良が加えられ、百三十年性が目を見張るものがある」と先人の功績をたたえた。



右が初代の栗子隧道。左は自動車が行き来できるよう拡幅された第2世代の栗子隧道

ルートを決めた山形県令の三島通庸や福島県令の山吉盛典らの先見性には目を見張るものがある」と先人の功績をたたえた。

東北中央道栗子トンネル貫通

# 万世大路の未来

▷下◁

二十二日に貫通する

栗子トンネル。東北中央自動車道の福島ジャンクション(JCT)米沢インターチェンジ(IC)間の最難関工事が区切りを迎えることで、平成二十九年

二十日も栗子峠付近の道路には雪が降り積もり、慎重に運転する。道路と合わせ、新たなICの整備など経済面に与える影響も大きい。安部所長は「福島側からみて、大笹生ICが持つ潜在能力は高い」と分析する。周辺の企業誘致、各種施設の建設など、さまざまな可能性を秘めている。

二十日に貫通される。一三号国道の栗子峠周辺は連続雨量が一八〇ミを超えたり、降雪時に風速一六メートルの風が吹いたりすると規制がかり、通行できなくなる。十六年から二十年にかけて、降雪などによる通行止めは年平均六回を数える。四号国道を北上する迂回路は約二時間(うかい)路は約二時間を要し、物流面で大きくな足かせとなっていない。

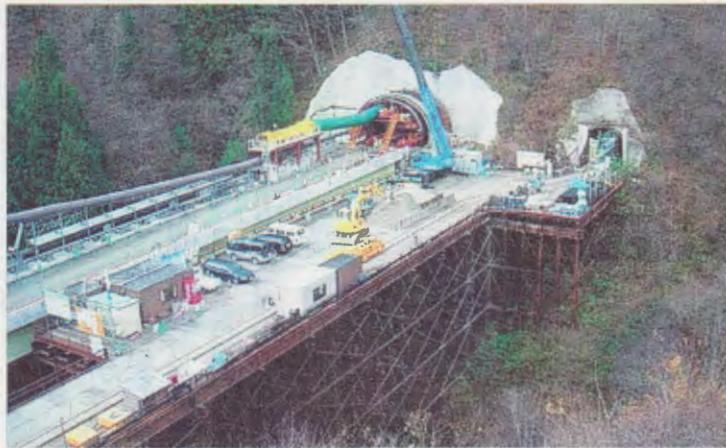
# 安全性向上に期待

度が目標の同区間開通へ大きく前進する。福島市の大笹生ICから米沢ICまでの所要時間(うかい)路は約二時間(うかい)路は約二時間を要し、物流面で大きくな足かせとなっていない。

# 経済の発展にも可能性

所長(うかい)は「東北中央自動車道は過酷な自然状況に強い構造になっている。無料通行の幹線道路が二本に増えれば、相馬間が、早ければ

三十二年度に全面開通する。太平洋に面する浜通りと山形が高規格幹線道路でつながること、観光面の効果も期待される。安部所長は「道路は地域発展の土台。活用の仕方次第で、価値は大きく変わっていく」と東北中央自動車道がもたらす明るい未来に思いを巡らせる。



工事が進む東北中央自動車道の栗子トンネルの福島側入り口付近。供用開始への期待は大きい